

おじさん構文「なんちゃって」と若者ことば「ぴえん」について

工 藤 俊*

On the Expression *Nanchatte* Used by Middle-aged Men and the Japanese Teen Slang Word *Pien*

Shun KUDO*

Abstract

This paper explores the linguistic characteristics of the Japanese expression *nanchatte*, which is often used by Japanese middle-aged men, and the Japanese teen slang word *pien*, both of which are employed in computer-mediated communication. *Nanchatte* is an instance in “ojisan-koubun,” a writing style used by middle-aged men, and its fundamental function is to modify a statement prior to the expression, for example: *Ojisan-to deeto shichau* ♡😊 *Nanchatte* 😊 “Shall we go on a date ♡😊 Just kidding 😊.” *Pien* is an onomatopoeia representing the crying act and has been widely used since around 2019 primarily by female Japanese teenagers, for example: *Kounyu kara 5 nen-no macbook-de-wa supekku-ga oitsuka-nai pien*. “This macbook has insufficient performance, because it has been five years since I purchased it. Phew.”

It is of interest to note that these two expressions have some grammatical similarities in common from the viewpoint of discourse and pragmatics, though they have distinct linguistic properties, as one might empirically predict. In particular, I would like to claim that (i) while they share the same property in their discourse structure, they have distinct characteristics in their discourse function, and (ii) they share the same pragmatic function, but have different features in their pragmatic effect.

1. はじめに

本論は、いわゆるおじさん構文と呼ばれる文体で使用される連語「なんちゃって」と、若者ことばの一種である感嘆詞「ぴえん」の例を観察し、それぞれの文法特性を比較する。そして、関連する先行研究における主張と本研究を照らし合わせる形で、「なんちゃって」と「ぴえん」の運用面に関する特性を記述することを目的と

する。

おじさん構文は、一部の中年男性が、20代を中心とした若年層の女性に向けて、LINEなどのインスタントメッセージングを通じてメッセージを送る際に用いる文体のことを指し、2017年頃から Social Networking Service (SNS) 上で注目を浴び始めた。

*人間総合学群 人間文化学類

- (1) おはよう、〇〇チャン♡朝の静けさって心地よいよね😊📺おじさんも今、静かな朝を楽しんでいるよ😊📺昨日はどんなことがあったか、おじさんに聞かせてくれると嬉しいな💡🗨️おじさんは昨日、ひとりで映画鑑賞に行ってきたよ🎬👤今、話題になっている映画なんだけど、〇〇チャン知ってるかな？おじさん、感動して泣いちゃったよ😭❤️とてもいい映画だから観に行くといいよ👉📺でも、〇〇チャンはひとりで映画を観に行かないんだよね？おじさんと一緒に行っちゃう？ナンチャッテ😊^{1, 2, 3}

おじさん構文の文体的特徴は、絵文字やカタカナの濫用が典型的である。また、送信相手に対するセクシャルハラスメントの可能性を含む Face-Threatening Act (以降、FTA)⁴、または「個」の侵害(井上(2021))であると判断されかねない内容が多い。なお、若者によるインスタントメッセージは、即時性が求められるがゆえに短文になる傾向があり、短期間のうちに短いメッセージのやり取りを送受信者の間で重ねるといった特徴をもつ。しかし、おじさん構文によるメッセージは(1)のように長文におよぶ傾向にあり、これもおじさん構文を特徴づける顕著な傾向のひとつである。

一方「びえん」は、人の泣き声を模した若者ことばの一種であり、「悲しさ」を表す際に用いられる感嘆詞であると定義される(=(2a))。しかし工藤(2023)によれば、肯定的な文脈における使用も少数ながら観察される(=(2b))。

- (2) a. お弁当ひさびさに作った。1年半ぶりくらいかな。1年半前は親の代わりにずっと作ってたんやけどな。最

後ウッキウキで卵乗せしようとしたらミスって折れちゃって直そうとしたらひつついて離せへんくなったびえん⁵

- b. 推しが尊いびえん😭👉⁶

(2a) の「びえん」は、話者自身の現状に対する悲観的態度を言語化したものである。一方(2b) では、対象に対する話者の傾倒を表現するための手段として「びえん」が用いられている。なお、(2b) における「推し」とは、自身が傾倒している対象(アーティストや芸能人等)のことを意味し、「尊い」は対象の価値が高いことを表したり、対象を神格化したりする際に用いられる若者ことばである。

また、おじさん構文と若者ことばという、一見関わりのない2つの表現形式を比較することによって疑問を抱かれるかもしれないが、「なんちゃって」と「びえん」を詳細に比較考察すると、共通点がいくつか存在することが分かる。一方で、両表現には異なる言語的役割が付与されていることも経験的に自明である。以降の議論では、「なんちゃって」と「びえん」の文法的振る舞いを比較考察し、両表現の類似点と相違点を明らかにしていく。なお、「なんちゃって」と「びえん」は、その一過性ゆえに分析対象とされることが少なく、特に「なんちゃって」に関する先行研究は、管見の及ぶ限り皆無に等しい。したがって本論では、「びえん」に関する先行研究で明らかにされた事実や、その他の言語研究で得られた知見を中心に参照し、議論を進める。また、「なんちゃって」の例文は実例を扱うサイトから引用し、「びえん」の例は主に X から引用する。

2. 「なんちゃって」と「ぴえん」の談話的特性

2.1. 「なんちゃって」と「ぴえん」の基本例

本節では、連語「なんちゃって」と感嘆詞「ぴえん」の基本的な例を概観することで、それらの文脈における役割を明らかにする。おじさん構文における「なんちゃって」は、前件の発話内容をキャンセルする役割を担う。

(3) a. 昨日はどんなことがあったかな？

おじさんは昔の写真📷を見て懐かしんでいたんだ😊思い出っていいよね👉○○チャン、今日はどんな予定📅があるのかな？ショッピングかな？👕、エステかな？💆、それとも、おじさんとデートしちゃう💕😊ナンチャッテ😊⁷

b. おはよう😊○○チャン😊。朝の空気ってなんだか新鮮で気持ちがいいよね😊👉おじさんも今、窓を開けて外の風を感じているよ😊○○チャンの肌の温もりも感じたいな😊💕ナンチャッテ😊⁸

(3a) における「それとも、おじさんとデートしちゃう💕😊」、および (3b) における「○○チャンの肌の温もりも感じたいな😊💕」という発話が、「なんちゃって」の前件にそれぞれ相当する。そして、前件相当の内容はセクシャルハラスメントに該当する内容を含むため、話者は冗談のつもりであったことを表す「なんちゃって」によってその内容を、少なくとも表向きは撤回表明している。⁹のポライトネス理論 (Politeness Theory) の立場からいえば、聞き手に対するフェイス侵害行為を、話者自身の意思で回避しているといえる。つまり「なんちゃって」の発話は、聞き手に対するフェイス

侵害行為を回避するのみならず、話者自身の面子も保つ行為といえる。「なんちゃって」の言語的特性は以降でも考察するので、当該表現に関する言及はここでいったん区切るとする。

また、工藤 (2022, 2023) による「ぴえん」の分析によれば、当該表現は悲しさ (時として嬉しさ) を表すオノマトペであると定義されている。前節でも簡単に言及したが、改めて以下の例で考察する。

(4) a. 昼飯食おうと材料出してただけど

ミーティング入って急ぎの作業してたらこんな時間になっててぴえん¹⁰

b. 憧れの人に仲良しだと思ってますって言ったら私も仲良しだと思ってるって言われて最高ぴえん¹¹

(4a) では、話者自身の境遇に対して悲観的な態度を伝達する言語手段として、「ぴえん」が使用されている。一方 (4b) では、話者の置かれている状況を話者自身が肯定的に捉え、その感情の発露として当該表現が用いられている。なお、(4) の例はともに X から引用した実例であるが、比較的文脈が明示的である。管見の及ぶ限り、X における「ぴえん」の用例は、前後文脈への明示的・具体的言及はあまりなく、時として絵文字を伴いながら短文でツイートされるパターンが一般的である。

(5) ぴえん😊¹²

(5) の例は、他ツイートに対するリプライ (返信) である。西村・黒田 (2018) や西村 (2022) による打ち言葉研究でも言及されているように、X や LINE に代表される SNS 上でのやり取りは、Computer-Mediated Communication (CMC) と呼ばれる。CMC は、文字情報による意思伝

達行為であり、書き言葉としての側面をもつ一方、限りなく会話に近いやり取りが要求される営みでもある。そのため、一定の分量を伴う文語的な文体は、CMCには逆説的に不向きであり、「無駄な修飾が少ない、省略が多い、より短く単純な文が多い、インフォーマル、正確さに欠ける」といった文体的制約が課される（北出(2006:120)）。¹³ また、話者の感情描出を絵文字に依存することによって、CMCにおける言語表現としての経済性が担保される。

また、工藤(2022)によれば、「びえん」はその音韻的な柔らかさも相まって、発話内容に由来する深刻さを直後で緩和する機能を持つとされている。

- (6) a. 私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。びえん
b. 地元離れちゃったから寂しくて死にそうびえん

(工藤(2022:205))

「びえん」が文末に生起することによって、発話全体の深刻さが緩和され、「話し手にはまだ心の余裕がある」といった印象を聞き手に与えることができる。これを、「びえん」が不在の(7)の例と比較すると、その深刻度合いの差は明らかである。

- (7) a. 私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。
b. 地元離れちゃったから寂しくて死にそう

(工藤(2022:205))

なお、「びえん」の緩和機能およびオノマトペとしての特性についても、「なんちゃって」と

同様に、以降の議論で改めて詳しく分析する。以上、本節では「なんちゃって」と「びえん」の基本的な特徴を簡単に概観した。

2.2. 「なんちゃって」と「びえん」の談話的特性

前節に続いて本節では、連語「なんちゃって」と感嘆詞「びえん」の談話的側面に焦点を当て、具体例を検証する。前節の例(6)でみたように、「びえん」は発話内容の深刻度を下げる役割を果たす。言い換えると、「びえん」自体はその評価対象となる状況を前提として要求しているといえる。つまり「びえん」は、前提となる情報が不在の文頭ではなく、情報が充足した文末でこそ、その特徴的な効果を発揮するのである。このことは、文末の「びえん」を文頭に移動した際の文法性からも明らかである。以下の例は、(6)の例の文末に生起していた「びえん」を文頭に移動させた作例である。

- (8) a. ?*びえん。私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。
b. ?*びえん。地元離れちゃったから寂しくて死にそう。

(cf. (6))

(6)の例とは対照的に、(8)の例は日本語の表現としてほぼ不適切であると判断された。前提情報がない文脈における「びえん」単独の発話は、話し手が聞き手に与える情報量という観点からいえば明らかに不足している。Grice(1975)の「協調原理(cooperative principle)」の立場からいえば、「量の公理(maxim of quantity)」に反するものである。つまり、前提がない談話環境において「びえん」がその冒頭で用いられても、当該表現が評価する対象が

不在であるため意味をなさないという談話的特徴がある。

前提情報が不在の文頭における「びえん」の談話的制約は、「なんちゃって」にも当てはまる。

(9) a. ^{OK} ○○チャン、誕生日おめでとうございますー！ 🎂 🍰 🍰 おじさんも今日は若返った気分だよ！ 😊
🎉 次の連休、ふたりで誕生日パーティーしようヨ 🤗 🤗 🤗 そうだ、おしゃれなレストランを見つけたから、そこでしょうか 🤗 😊 24時間営業だから徹夜でパーティーできるヨ 🤗 🤗 ナンチャッテ 😊¹⁴

b. * ○○チャン、誕生日おめでとうございますー！ 🎂 🍰 🍰 おじさんも今日は若返った気分だよ！ 😊
🎉 ナンチャッテ 😊 次の連休、ふたりで誕生日パーティーしようヨ 🤗 🤗 🤗 そうだ、おしゃれなレストランを見つけたから、そこでしょうか 🤗 😊 24時間営業だから徹夜でパーティーできるヨ 🤗 🤗

(10) a. ^{OK} そういえばこの前、オシャレなカフェを見つけたよ 🍷 今度、おじさんと一緒にお茶しに行かない？ 😊 その後、誕生日プレゼント 🎁 買ってあげようかな 😊 何が欲しい？ 🤗 クルマ 🚗 買ってあげようかな 🤗 ナンチャッテ 😊¹⁵

b. * そういえばこの前、オシャレなカフェを見つけたよ 🍷 ナンチャッテ 😊 今度、おじさんと一緒にお茶しに行かない？ 😊 その後、誕生日プレゼント 🎁 買ってあげようかな 😊 何が欲しい？ 🤗 クルマ 🚗 買ってあげようかな 🤗

(各種下線は筆者による)

(9b) や (10b) はそれぞれ、(9a) および (10a) に若干修正を加えた作例である。また、(9) および (10) の例では便宜上、一重下線は連語「なんちゃって」、二重下線は「なんちゃって」が撤回する対象、波下線は「なんちゃって」の撤回対象ではない発話をそれぞれ示している。(9)の文脈で注意されたいのは、一重下線部「なんちゃって」によって前提が取り消される対象は、あくまでも、二人だけで誕生日パーティーを開催したいという願望(二重下線部)であり、波下線部「おじさんも今日は若返った気分だよ！ 😊 🎉」ではないことである。したがって、「なんちゃって」が撤回する対象が直前にない(9b)の談話は、理にかなっていないことになる。(10)の文脈においても、「なんちゃって」による撤回は、送信相手と二人で会うことの勧誘、そして誕生日プレゼントの提案を対象としており、「オシャレなカフェを見つけたよ 🍷」ではない。したがって(9b)と同様、撤回の対象が直前にない(10b)の談話も容認されない。上記の例から、「なんちゃって」は前提が存在することを前提とするという談話的特徴を持つことがうかがえる。そして、このような談話的特性は「びえん」のそれと軌を一にするといえる。

前提となる文脈を要求するという「びえん」と「なんちゃって」の特性は、聞き手による指示詞の使用および評価・態度にも影響をおよぼす。評価対象が不明な状況を想定した場合、聞き手がその不明な評価対象を指示することはできない。また、「びえん」を発話した者に対して聞き手が評価を下したり、同情または非難といった態度を表明したりすることもできない。(11)の話者Aによる「びえん」は、前提がない談話環境における突発的な発話またはSNS

上でのツイートを想定している。

(11) A: びえん

B: * それはつらかったね。／*それは深刻だね。／*それはあなたが悪いよ。

(11) の話者 B による各種発話はすべて、指示詞「それ」を含んでいる。この指示詞に関して、金水（1999）は日本語の直示表現に関する研究の中で以下のように言及している。

(12) 指示詞表現は、一種の談話管理標識である。すなわち、指示対象の同定にあたって話し手が行っている心的な処理の状態をモニターしている訳である。それによって知られる話し手の心的処理に基づいて、聞き手も指示対象の同定を行うことができる。

（金水（1999:70））

金水の言及は、指示対象が談話参与者間で共有（＝同定）されていることを前提としている。これを踏まえて（11）の例を再考すると、談話参与者間で指示詞「それ」によって示される指示対象が共有されていないので容認されないということになる。また、話者 B による「つらかったね」、「深刻だね」、「あなたが悪いよ」という評価的発話は、話者 A が陥っている状況の原因が話者 B にとって既知であることを前提とする。つまり、話者 B は話者 A が悲しんでいる理由を知らないにもかかわらず、話者 A に対して同情または非難することは不可能である。したがって、話者 B によるこれらの発話はすべて意味をなさない。

聞き手による指示詞の使用制限や、評価・態度に関する制約は、「なんちゃって」にも適用

される。（11）の談話環境と同様、（13）の話者 A による「なんちゃって」は、前提となる文脈が不在の談話環境における発話である。

(13) A: ナンチャッテ☹

B: * え、ウソだったの??／*うん、それちょっと言い過ぎ。

前述の通り、「なんちゃって」は前件の発話内容を変更または撤回する表現なので、文脈不在の談話環境における話者 A の発話自体、Grice が述べるところの「量の公理」に反している。そして、話者 B による「え、ウソだったの??」や、「うん、それちょっと言い過ぎ」という表現は、「なんちゃって」が変更または撤回している前件内容が、話者 A と話者 B の間で共有されていることを前提とする。加えて、話者 B は「うん、それちょっと言い過ぎ」において指示詞「それ」を用いているが、（11）の話者 B の発話と同様、指示対象が不在なので使用自体が不自然である。したがって、（13）の会話は成立しない。

このように、「なんちゃって」と「びえん」には、前提のない文脈での発話は基本的に容認されないという談話的特徴があることが明らかになった。その点で、両表現は談話構造的に類似しているといえよう。

2.3. 池上（1981）の事象キャンセルと「なんちゃって」および「びえん」への応用

前節では、連語「なんちゃって」と感嘆詞「びえん」の談話構造に関する類似性を垣間みたが、本来的には関連性のない言語表現であることは、経験的・直感的に自明であることも確かである。ただ、両表現の言語的特徴の違いを具体的に示すには、当然、言語学的手法による論証が必要となる。これを受け本節では、先行研究の知見

を取り込みながら、「なんちゃって」と「ぴえん」のの違いを検証していく。

両表現の特性の違いを説明する際、池上(1981)による日本語と英語の動詞アスペクト研究が示唆的である。池上は、「一般に、ある意図的な行為がなされる場合、その行為によってある結果が意図されていることがある。その種の〈行為〉を表す動詞には、意図された結果の〈達成〉までもをその意味範囲の中に含んでいるもの(中略)がある」と述べている。

- (14) a. * 彼ヲ殺シタケレド、死ナナカッタ
b. * I killed him, but he didn't die.
(池上(1981:267))

日本語動詞「殺ス」でも英語動詞 *kill* でも、動詞アスペクト的には相手の死が達成されたことまでを含意するので、行為を撤回する内容の発話を後続させることはできない。

ある事象が成立したことを表明した後、その事象の成立を否定する発話が現れる(14)のような表現形式は、事象キャンセル(event cancellation)と呼ばれ、池上(1981)を筆頭に、自然言語研究や言語習得研究などの分野において多角的な分析が進んでいる(Tsujimura(2003)、加藤(2023)など)。本論は、この事象キャンセルに着想を得て、「なんちゃって」と「ぴえん」に応用する形で、両表現の談話的振る舞いをさらに深く探る。

(14)は、前件の発話内容のキャンセルで終わっていたが、話者の意図によってキャンセル自体を取り消すこともできる。つまり、キャンセルしたことを撤回し、最初の発話内容を復元することができる。

- (15) a. このイチゴ腐ってるよ。あ、ウソ、よく見たら大丈夫そう。ん？でも

- やっぱりこの部分、悪くなってるわ。
b. 部屋の電気消したか確認してもら
る？あ、やっぱ大丈夫、消したと思
う。あ、いや、ごめん、でもやっぱ
り心配だから確認してくれるかな？

(15a)では、イチゴの状態が悪くなっている様子を確認したもの、それは事実ではないと、いったん撤回している。しかし、対象をよく観察してみると、やはり腐っていることが確認されたため、撤回したことを解除し、最初の「このイチゴ腐ってるよ」が復元された談話である。(15b)も同様に、聞き手に対する依頼をいったん取り下げた後、一時的な思案を経た後、改めて依頼表明をしている談話である。このように、いったん表明した内容を撤回し、何らかの理由でさらにその撤回を解除することは、人間の言語活動の中で自然に行われる行為である。

では、「なんちゃって」と「ぴえん」は、撤回解除に関してどのような振る舞いをみせるのだろうか。まずは「なんちゃって」の例からみてみよう。

- (16) a. おじさんは昨日、ひとりで映画鑑賞に行ってきたよ 📺 🎬 今、話題になっている映画なんだけど、
○○ちゃん知ってるかな？おじ
さん、感動して泣いちゃったよ
😭❤️ とてもいい映画だから観に
行くといいよ 📺 🎬 でも、○○
ちゃんはひとりで映画を観に行か
ないんだよね？おじさんと一緒
に行っちゃう？ナンチャッテ 😊
(cf. (1))

- b. ^{OK} おじさんは昨日、ひとりで映画鑑賞に行ってきたよ 📺 🎬 今、話題
になっている映画なんだけど、

○○ちゃん知ってるかな？おじさん、感動して泣いちゃったよ 😊❤️ とてもいい映画だから観に行くといいよ 📱 📺 でも、○○ちゃんはひとりで映画を観に行かないんだよね？おじさんと一緒に行っちゃう？ナンチャッテ 😊
でもホンネは○○ちゃんと一緒に観たいナ ❤️

- (17) a. ○○ちゃん、今日はどんな予定 📅 があるのかな？ショッピングかな？ 🛍️、エステかな？ 💆、それとも、おじさんとデートしちゃう 😍 😊 ナンチャッテ 😊

(cf. (3a))

- b. ^{OK} ○○ちゃん、今日はどんな予定 📅 があるのかな？ショッピングかな？ 🛍️、エステかな？ 💆、それとも、おじさんとデートしちゃう 😍 😊 ナンチャッテ 😊
でもホンネを言うと、やっぱり○○ちゃんとデートしたいナ 😍 😊

(下線は筆者による)

前述の通り、(16a) の例における「なんちゃって」は、「おじさんと一緒に行っちゃう？」という発言内容を変更または撤回するものであるが、(16b) のように思考の修正を経た後、当該発言の撤回を解除することが可能である。同様に (17) の例でも、「それとも、おじさんとデートしちゃう 😍 😊」という発言を「ナンチャッテ 😊」によっていったん撤回した後、思考の修正を経て、話者の本心を改めて表明している。

一方、「ぴえん」は撤回解除に関してどのように振る舞うだろうか。

- (18) a. 私、昨日誕生日だったのにメール

来なかった。今、とてもつらい。
ぴえん

(= (6a))

- b. * 私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。
ぴえん。でもやっぱりつらい。

- (19) a. 地元離れちゃったから寂しくて死にそうぴえん

(= (6b))

- b. * 地元離れちゃったから寂しくて死にそう。ぴえん。でもやっぱり寂しくて死にそう。

(下線は筆者による)

(18b) および (19b) のように、「今、とてもつらい」や「寂しくて死にそう」といった表明を、「ぴえん」を介在させた後に再度表明し直すことは許されない。この事実から、「なんちゃって」とは対照的に、「ぴえん」には前件の発話内容を撤回する機能は備わっていないといえる。なお、学生インフォーマントによると、「ぴえん」は言い切り表現であり、通常、後続要素を伴うものではないと述べている。つまり「ぴえん」は、前件に相当する発話内容に対して話者自身の心的態度を明示的に表明するものであり、さらなる情報の付加は基本的に不要であると判断されるようである。

2.4. 2 節のまとめ

以上の撤回解除の可否に関する考察から、「なんちゃって」には前件内容を撤回するという役割があるのに対し、「ぴえん」にはその役割がないという、談話機能的な差異があることが分かった。2.2 節にみた両表現の特徴も取り込むと、「なんちゃって」と「ぴえん」には以下のような談話的特徴が観察されることが明らかになった。

表1：「なんちゃって」と「ぴえん」の談話特性比較

	談話構造に関わる特徴	談話機能に関わる特徴
「なんちゃって」	前提となる文脈を要求する	前件内容を変更または撤回する
「ぴえん」		前件内容に対する心的態度を表明する

ここまでは、両表現の談話構造と談話機能に焦点を当てて考察してきた。しかし、両表現が対人関係の中でもたらす語用論的效果についてはまだ議論の余地がある。したがって次節では、さらに語用論的な立場から両表現を考えてみたい。

3. 「なんちゃって」および「ぴえん」の語用論的特性

3.1. オノマトペとしての「ぴえん」の語用論的特性

2節では、連語「なんちゃって」と感嘆詞「ぴえん」の談話に関する諸特徴を概観したが、本節では、対人関係において両表現がもたらす効果という、より語用論的な側面に焦点を当てる。まずは「ぴえん」から考察していくが、当該表現によって伝達される内容は、話者の心の有りように焦点を当てたものであると2節で述べた。この点について、ここではさらに深く考察することにする。

- (20) a. おで、、、テストある、、漫画かけない、、
絵描けない、、ぴえん (20) (20) (20) (20)
(20) (20)¹⁶
- b. おで、、、テストある、、漫画かけない、、
絵描けない、、しくしく (20) (20) (20) (20)
(20) (20)

例文中で使用されている「おで」は、「おれ(俺)」から派生した語と推察される。(20a)の「ぴえん」と、弱々しく泣くさまを表す(20b)のオノマトペ「しくしく」を比較すると、ニュアン

スの違いは認められるものの、意味的には類似しているといえよう。種々のオノマトペ表現から得られる印象については、小松他(2011)による研究が示唆的である。小松他は、曖昧模糊とした主観的要素を多分に含むオノマトペ表現を数多く収集し、それらの印象を統計的な手法を用いて数値化した。小松他は、オノマトペについて以下のように言及している。

- (21) 言語的な意味とは独立な音響的特徴である音象徴(中略)によって形成されるケースが多いため、一般的語彙に比べて臨場感に溢れ繊細な表現を可能としている。

(小松他(2011:1)、下線は筆者による)

小松他は、任意の事象を客観的に記述するというよりは、その状況に没入しているような臨場感を伴いながら事象を描出するのがオノマトペであると定義している。小松他による上記の言及を踏まえ、(20a)の「ぴえん」をいま一度みてみよう。この例文によって描出されるものは、話者の客観的な状況というよりは、居たたまれない状況に追いやられている話者の心情である。つまり(20a)の「ぴえん」は、話者の状況が如何にネガティブなものであるかを、臨場感をもって描写している。

さらに「ぴえん」は、話者の置かれた状況を心情的に描出するだけではなく、半濁音「び」による音響的影響も受ける。小松他は、子音、母音、「ん」、濁音、半濁音、「ゃ」、「ゅ」、「ょ」、促音、ならびに長音が与える印象を、「キレ・

俊敏さ」、「柔らかさ・丸み」、「躍動感」、「大きさ・安定感」といった4つの属性に分類し、それぞれ数値化している。数値等の詳細は小松他に譲るが、半濁音は「柔らかさ・丸み」という属性の中で、他の要素よりも比較的高い属性値を示している。本論に置き換えると、「ぴえん」における半濁音「ぴ」が、「柔らかい」または「優しい」といった印象を与えることに貢献している。その結果、「ぴえん」はただ悲しさを臨場感溢れる形で表すだけでなく、「優しい」または「かわいらしい」といった当該表現特有のニュアンスを帯びることになる。さらに(20a)のように、絵文字「㊄」が付加されることによって、そのかわいらしさを強調させる効果が生まれる。

上記の議論を踏まえ、「ぴえん」の聞き手に与える印象について、さらに議論していきたい。文末に当該表現が生起することで、直前の発話内容によってもたらされた深刻さが緩和されることは2節で述べた。以下の例は、(6)および(7)の再掲である。

- (22) a. 私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。

(=(7a))

- b. 私、昨日誕生日だったのにメール来なかった。今、とてもつらい。ぴえん

(=(6a))

- (23) a. 地元離れちゃったから寂しくて死にそう

(=(7b))

- b. 地元離れちゃったから寂しくて死にそうぴえん

(=(6b))

(22)と(23)におけるそれぞれのペアを比較すると、聞き手が受け取る印象が大きく異なる。これは、深刻な発話内容によってもたらされる緊張を緩和するという、「ぴえん」のオノマト

ペ的な効果が影響している。ここまでの議論を踏まえると、「ぴえん」による深刻さの緩和効果は、当該表現のオノマトペ的特性に還元されるといえる。

さらに、ポライトネス理論の立場からいえば、「ぴえん」が深刻さを緩和させるということは、当該表現がフェイスの侵害を回避するために使用されるヘッジ(緩和表現)であることを意味する。Lakoff (1972)に代表されるヘッジ研究であるが、入戸野(2004)は、友人間のコミュニケーションでヘッジが果たす役割および機能の研究の中で、ヘッジを以下のように定義している。

- (24) 陳述、質問、申し出、命令、拒絶といった命題の中、前、または後ろに置かれて、発話行わないしは発話態度を緩和する機能をもつもの

(入戸野(2004:289)、下線は筆者による)

今まで議論してきた通り、「ぴえん」の持つ語用論的特性は(24)の下線部による定義そのものである。以上の議論を総括すると、「ぴえん」は話者自身が置かれている状況がそこまで深刻ではないということを、話者の本心は別として、明示的に表明するためのヘッジであるといえる。特に、(22)や(23)のような文脈では、話者が深刻な内容の表明をした後に、それが聞き手との対人関係を損ねる可能性を秘めているFTAであると話者が判断し、その深刻な空気を一掃する目的で、かわいらしさを帯びた「ぴえん」が用いられるのである。その結果、聞き手との関係が損なわれてしまうことの回避につながる。

3.2. 「なんちゃって」の語用論的特性

続いて、連語「なんちゃって」の語用論的特

性を考察する。先述の通り、話者自身が発した内容が聞き手にとって FTA に相当する（特にセクシャルハラスメントと聞き手に受け取られる）可能性があると言者が判断した結果、その発言を変更または撤回するために当該表現が発話される。これは、文脈における「なんちゃって」の有無を比較すると明確になる。

- (25) a. おじさんは昨日、ひとりで映画鑑賞に行ってきたよ 📺 🎬 今、話題になっている映画なんだけど、〇〇ちゃん知ってるかな？ おじさん、感動して泣いちゃったよ 😭 ❤️ とて面白い映画だから観に行くといいよ 📺 🎬 でも、〇〇ちゃんはひとりで映画を観に行かないんだよね？ おじさんと一緒に行っちゃう？
- b. おじさんは昨日、ひとりで映画鑑賞に行ってきたよ 📺 🎬 今、話題になっている映画なんだけど、〇〇ちゃん知ってるかな？ おじさん、感動して泣いちゃったよ 😭 ❤️ とて面白い映画だから観に行くといいよ 📺 🎬 でも、〇〇ちゃんはひとりで映画を観に行かないんだよね？ おじさんと一緒に行っちゃう？ ナンチャッテ 😊 (= (16a))
- (26) a. 〇〇ちゃん、今日はどんな予定 📅 があるのかな？ ショッピングかな？ 🛍️、エステかな？ 💆、それとも、おじさんとデートしちゃう？ 💕 😊
- b. 〇〇ちゃん、今日はどんな予定 📅

があるのかな？ ショッピングかな？ 🛍️、エステかな？ 💆、それとも、おじさんとデートしちゃう？ 💕 😊 ナンチャッテ 😊 (= (17a))

(25a) では、「おじさんと一緒に行っちゃう？」という表明で談話が終わっていることから、話者はこの発言に対する責任が生じる。つまり、聞き手の捉え方次第では対人関係を損ねることになりかねない。そこで、(25b) のように「ナンチャッテ 😊」を当該発言の後に発話することで、前言を変更または撤回し、対人関係に関わるリスクを回避しているのである。

3.3. 3 節のまとめ

本節では、連語「なんちゃって」と感嘆詞「びえん」の語用論的な特性を中心に考察してきた。両表現ともに、フェイスの侵害を回避または緩和するという機能を共通して持つ一方、「びえん」には深刻な場面における対人関係調整機能があるのに対し、「なんちゃって」には話者自身の失言を撤回して対人関係を維持する効果があることが分かった。まとめると表 2 のようになる。

4. おわりに

本論は、連語「なんちゃって」と感嘆詞「びえん」の類似点と相違点を、談話分析や語用論の立場から比較考察してきた。本論の分析から得た結果は表 3 のようになる。

おじさん構文は、セクシャルハラスメントまがいの内容、絵文字の濫用、文章が長いといっ

表 2 : 「なんちゃって」と「びえん」の語用論的特性比較

	語用論的機能	語用論的効果
「なんちゃって」	フェイス侵害の回避・緩和	失言の撤回による対人関係の維持
「びえん」		深刻さの緩和による対人関係の維持

表3：「なんちゃって」と「びえん」の特性比較

	「なんちゃって」	「びえん」
談話構造に関わる特徴	前提となる文脈を要求する	
談話機能に関わる特徴	前件内容の変更または撤回	前件内容に対する心的態度の表明
語用論的機能	フェイス侵害の回避・緩和	
語用論的効果	失言の撤回による 対人関係の維持	深刻さの緩和による 対人関係の維持

た特徴から、若者にとっては受け入れがたい文体として、揶揄の対象となっている。一方、若者ことばも、若者以外の世代には理解しがたい閉鎖的な言語として、しばしば奇異の目に晒される。そして、両者は水と油のごとく相容れないものとして認識されていた。しかし、今回の考察で明らかになったように、相違点は当然存在するものの、共通点も散見された。特に、両表現がフェイスの侵害の回避・緩和という語用論的機能を共通して持っていることは注目に値する。これは、中年世代であろうが若者世代であろうが、他者の目を気にする意識、または対人関係に配慮する心を共通して持っていることを意味する。対人関係の意識を行動に移す際、中年世代と若者世代でその様式が異なるというだけで、根本的な精神は共通しているのではないだろうか。ただ、この点について明らかにするには、さらなる justification が求められるので稿を改めたい。本研究は、世代という枠にとられない、人間の普遍的な心 (mind) を解明することを目指したものである。

* 本稿は、日本語用論学会第25回大会 (2022年11月於オンライン) にて、「言語使用の三層モデルからみる「マジ卍」と「びえん」の語用論的機能」のタイトルで行った口頭発表の内容に一部基づいている。有益なコメントをいただいた先生方、英語による概要のチェックを丁寧にしていただいた Taron Plaza 氏、日本語例文

の容認性判断にインフォーマントとして協力していただき、かつ、研究過程で多くの示唆を与えてくれた駒沢女子大学および神戸大学の学生および大学院生の方々に深く感謝申し上げる。いうまでもなく、本稿における誤りや不備はすべて筆者の責任によるものである。

¹ 本論における引用例文は、すべて2024年10月23日に閲覧したのが最後である。

² 本稿で用いている絵文字は、Microsoft® Word 2021 MSO 64ビットが対応している絵文字に変換されているため、インターネットおよび X で使用されている絵文字を忠実に再現しているわけではない。詳細は各リンク先を参照されたい。

³ <https://shoji7405coffee.hateblo.jp/entry/ojisan-ohayo-ko>

⁴ Face-Threatening Act は、Brown and Levinson (1987) によって提唱されたポライネス理論の一概念であるが、Baker and Ellece (2011) (澤田他 (訳) (2018)) による定義が簡潔かつ明快である。「フェイス (face)」、「積極的フェイス (positive face)」、ならびに「消極的フェイス (negative face)」の定義とともに、以下に記す。

「フェイス」(face) とは、saving face (体面・面目などを保つ・保持する) といった表現に見られるものである。人々が自己を他人に提示したいと望む提示の方法をいう。

(中略)「積極的フェイス」(positive face)とは、他人から賞賛・承認されたいという欲求であり、「消極的フェイス」(negative face)とは、他人から干渉されたくないという欲求である。「フェイス侵害行為」(face-threatening act) (FTA) とは、これらのフェイスを侵害する（もしくは、それに脅威を与える）可能性のあるような状況・出来事である。

(Baker and Ellece (2011:45)

(澤田他 (2018:72)))

⁵ <https://x.com/Reddoren/status/1830954043881201721> (2024年9月3日投稿)

⁶ <https://x.com/MintTab0710/status/1588842663402680320> (2022年11月5日投稿)

⁷ <https://shoji7405coffee.hateblo.jp/entry/ojisan-ohayo-ko>

⁸ <https://shoji7405coffee.hateblo.jp/entry/ojisan-ohayo-ko>

⁹ ある言語表現が FTA に該当するか否かといった問題は、聞き手の主観的判断や、話し手と聞き手の関係性に多分に依存することは、一言付け加えておく必要がある。

¹⁰ <https://x.com/groovigaizi/status/1831242072822808762> (2024年9月4日投稿)

¹¹ <https://x.com/xyakiebix/status/1508585481071579136> (2022年3月29日投稿)

¹² https://x.com/tsugaru_twt/status/1831504833465217490 (2024年9月5日投稿)

¹³ 北出 (2006) は、チャットやビデオコンファレンスのような、話し手と聞き手が同じ時間を共有して行われるものを共時性 CMC、電子メールや BBS のように同一時間の共有はないものを非共時性 CMC としている。そして、「無駄な修飾が少ない、省略が多い、より短く単純な文が多い、インフォーマル、正確さに欠ける」といった特徴は、共時性 CMC に当てはまる特

徴として述べている。ただ、この主張は SNS が発達する前のものであるため、X や LINE などは当然想定されていない。特に X は、掲示板としての役割を一部果たすといえるが、リプライ機能やリツイート機能等にみられるように、他者とのコミュニケーションの場ともいえる。その意味で、共時性 CMC と非共時性 CMC の中間に位置するものと考えられ、上記のような特徴も X に該当すると考えることができる。

¹⁴ <https://shoji7405coffee.hateblo.jp/entry/ojisan-kobun-tan>

¹⁵ <https://shoji7405coffee.hateblo.jp/entry/ojisan-kobun-tan>

¹⁶ <https://x.com/sikidarutal6/status/1836393933246730706> (2024年9月18日投稿)

参考文献

Baker, P. and S. Ellece (2011) *Key Terms in Discourse Analysis*, Continuum: London.
(澤田治美・澤田 治・澤田 淳(訳) (2018)

『談話分析キーターム事典』, 開拓社: 東京.)

Brown, P. and S. Levinson (1987) *Politeness: Some Universals in Language Usage*, Cambridge University Press: Cambridge.

Grice, P. (1975) "Logic and Conversation," *Syntax and Semantics*, vol. 3: Speech Acts, eds. by P. Cole and J. Morgan, 41-58.

池上嘉彦 (1981) 『「する」と「なる」の言語学一言語と文化のタイポロジーへの試論』, 大修館書店: 東京.

井上逸兵 (2021) 『英語の思考法』, 筑摩書房: 東京.

加藤昌彦 (2023) 「事象キャンセルについて—東南アジア大陸部諸言語の観点から—」『東南アジア大陸部諸言語の事象キャンセル』加藤昌彦 (編), 1-40, 慶應義塾大学言語文化研究所: 東京.

金水 敏 (1999) 「日本語の指示詞における直示用法と非直示用法の関係について」『自然言語処理』6巻4号, 67-91.

北出慶子 (2006) 「非共時性コンピュータ媒介インターアクションの特徴がもたらす第二言語習得への可能性」『ことばとひろがり』(4), 山口幸二教授退職記念論集, 115-138, 立命館大学: 京都.

小松孝徳・秋山広美・清河幸子 (2011) 「オノマトペから感じる印象の客観的数値化方法の提案」『人工知能学会全国大会論文集』1C2-OS4b-1, 1-4.

工藤 俊 (2022) 「「マジ卍」と「ぴえん」に映る若者の心」『ユリイカ』2022年8月号, 200-208, 青土社: 東京.

工藤 俊 (2023) 「言語使用の三層モデルからみる「マジ卍」と「ぴえん」の語用論的機能」『日本語用論学会第25回大会発表論文集』, 74-81.

Lakoff, G. (1972) “Hedges: A Study in Meaning Criteria and the Logic of Fuzzy Concepts,” *CLS* 8, 183-228.

西村綾夏 (2022) 「打ち言葉の感情表現: Twitter 上の「怒り」表現に着目して」『日本語用論学会 第24回大会発表論文集』第17号, 99-106.

西村綾夏・黒田一平 (2018) 「書き言葉の感情表現—インターネットスラングに見られる「笑い」—」『日本語用論学会第20回大会発表論文集』第13号, 323-326.

入戸野みはる (2004) 「ヘッジの形とその機能—友人間の会話に見る—」『言語学と日本語教育Ⅲ』, 南雅彦・浅野真紀子 (編), 287-304. くろしお出版: 東京.

Tsujimura, N. (2003) “Event Cancellation and Telicity,” *Japanese/Korean Linguistics*, Vol. 12, 388-399, ed. by William McClure,

CSLI Publications: Stanford.